

社会学研究科 博士学位論文提出要領 【課程博士】

(1) 使用言語

論文は、原則として日本語で作成しなければならない。ただし、指導教員が日本語以外の言語で作成する必要性を認めた場合、博士学位論文提出予備審査までに研究科委員会の了承を得たうえで、日本語以外の言語による論文作成が認められる。

(2) 論文枚数等

①日本語の場合（詳細については指導教員の指示を受けること。）

社会福祉学専攻	<p>本文 120,000 字以上。 原則としてワープロを使用。A4 判用紙に横書。 1 ページ 40 字×30 行とする。 本専攻には「専攻内査読制度」があるので、秋学期末（3 月）学位取得の場合は 7 月中旬、春学期末（9 月）学位取得（4 年日以降）の場合は 1 月中旬を目処に、論文を主査に提出すること。具体的な提出日や審査スケジュールについては、主査と事前に相談しておくこと。 文献の引用・参照方法等は、日本社会福祉学会の学会誌の執筆要領による。</p>
メディア学専攻	<p>本文 120,000 字以上とし、資料、参考文献等はこれに含まない。 ワープロを使用。A4 判用紙に横書。 1 ページ 40 字×30 行とする。執筆の詳細および提出資格については専攻内執筆要領にもとづく。</p>
教育文化学専攻	<p>120,000 字程度。A4 判用紙。 原則としてワープロを使用。</p>
社会学専攻	<p>本文 120,000 字以上（1 ページ 1,200 字（40 字×30 行）で 100 枚以上） ワープロを使用。A4 判用紙に横書。 社会学専攻の執筆要領を参照のこと。</p>
産業関係学専攻	<p>本文 120,000 字以上。ワープロを使用。A4 判用紙に横書。 1 ページ 40 字×36 行とする。</p>

②日本語以外の言語の場合は、指導教員からの指示による。

(3) 提出方法

指導教員を通じて、所定の書式を揃え専攻教務主任に提出する。なお、専攻内における審議の後、指導教員の指示により、再度提出を求める場合がある。

(4) 提出時期

①在学中の秋学期学位授与日(3月20日頃)に学位授与の場合 → 前年11月末日を目途とする。

②在学中の春学期学位授与日(9月23日頃)に学位授与の場合 → 当該年度の5月中旬を目途とする。

③3年以上在学中で論文提出後に当該学期末で退学する場合 → 各学期の末日まで。(学位授与日は退学日に遡る。授与式は、9月末までに提出=3月、3月末までに提出=翌年度9月)

④【2016年度以降生のみ】標準修業年限3年以上在学中、退学後、再入学と同時に論文を提出(論文審査在籍)する場合。ただし退学日から3年以内である場合に限る。

※長期履修期間の途中で退学した場合は、論文審査在籍の対象外となるので注意すること。

→春学期適用：前年度の2月中旬を目途とする。

→秋学期適用：当該年度の8月中旬を目途とする。

(5) 各専攻が定める博士学位論文提出の条件を満たしていること。

※博士課程（後期課程）において3年以上在学し退学した者が博士学位論文を提出しようとする場合は、入学年度により取り扱いが異なる。

【2015年度以前生】

3年以上在学して予備審査に合格のうえ退学した者は、退学日から3年以内であれば課程博士学位論文として提出することができる。ただし、審査料が必要。提出は退学後3年以内の各学期末までとする。

【2016年度以降生】

在学中に提出した場合のみ、課程博士論文となる。

2016年度以降に博士課程に入学し、同課程において3年以上在学して必要な研究指導を受けた者が次のいずれかの場合に該当する時は、博士学位論文の審査のための在籍（論文審査在籍）を希望することができる。論文審査在籍は、在学扱いとなり、修業年限に含まれる。

- ①所定の研究指導を受け終え、予備審査に合格の上、引き続き、博士学位論文の審査のために在学する場合
- ②退学日から3年以内の者で、博士学位論文の審査を請求するために再入学する場合

論文審査在籍の期間は、論文審査在籍料を納入すること。他の学費を納入する必要はないが、論文審査在籍中に、学部または大学院の科目を履修することはできない。

→博士学位論文の提出の目途が立ち、論文審査在籍を希望する場合は、社会学研究科事務室まで相談してください。

博士後期課程の提出書式（見本）

■計画書＜様式1＞

■報告書＜様式2＞

専攻	ID	氏名	
2025年度 社会学研究科 博士課程（後期課程） ①研究計画書 / ②博士学位論文作成計画書 ※提出する際、いずれかに○を付けてください			
I. 研究題目			
II. ①:研究概要（研究の意義、先行研究、研究方法など）/②:博士論文の構想（論点、展開方法など）			
III. ①:博士学位論文提出予備申請までの半次研究計画/②:博士論文提出までの半次研究計画			
*記載欄の行数は適宜追加してください。 *学期始めに社会学研究科事務室に提出してください。 注 II.②は博士論文提出年次に記入 注 III.②は博士論文提出予定年次に記入			
			受領印

専攻	ID	氏名	
2025年度 社会学研究科 博士課程（後期課程） ①研究成果報告書 / ②博士学位論文作成進捗状況報告書 ※提出する際、いずれかに○を付けてください			
I. 研究題目			
II. ①:博士論文の構想（論点の確認または変更、具体的な進捗状況などを記載）/ ②:博士論文の進捗状況（具体的な進捗状況などを記載）			
III. 研究の発表（研究発表状況について記載）			
*記載欄の行数は適宜追加してください。 *学期末に社会学研究科事務室に提出してください。 注 II.②は博士論文提出年次に記入			
			受領印

＜様式1＞ 計画書

①研究成果計画書/②博士学位論文作成計画書

＊学期始めに社会学研究科事務室に提出してください。

注 II.②は博士論文提出年次に記入

注 III.②は博士論文提出予定年次に記入

＜様式2＞ 報告書

①研究成果報告書/②博士学位論文作成進捗状況報告書

＊学期末に社会学研究科事務室に提出してください。

注 ②は博士論文提出年次に記入

＜休学する場合の計画書・報告書について＞

■年間休学の際は、その年度について提出不要。

■半期（春または秋学期）でも在学する際は、その期間（年度）について提出必要。

＜様式1＞＜様式2＞は社会学研究科事務室から各学期始めにメール添付し、在籍者宛に一斉送信します。各自、入力後プリントアウトして、社会学研究科事務室に提出してください。

■博士學位論文提出予備審査 申請書

(2年目の最終学期以降に各自提出。教育文化学は除く)

申請日：20 年 月 日

社会学研究科 様

社会学研究科 博士學位論文提出予備審査 申請書

下記のとおり専攻が定める基準を満たす資料を添えて、博士學位論文提出予備審査を申請します。

記

学生ID		専攻
申請者氏名		
備考		

※論文作成時、日本語以外の書体を使用する場合は、使用書体を備考欄に記入すること。

○予備審査の対象となる研究成果
(記入欄がない場合は別紙に記入してもよい。)

項目	年 月	論文・学会発表・その他

以上

専攻が定める基準を満たした場合、第2年次の年度中に社会学研究科事務室へ提出のこと。3年目以降は各学期別に申請することが出来る。
※ただし、教育学専攻については「博士學位論文提出予備審査」をもって博士學位論文提出予備審査に代える。

以下に記入しなさい(すべて) (※必要時) ……………

申請者印	申請者署名 ※	申請者職名	
	/	/	学 専攻教務主任 (印)

「博士學位論文提出予備審査 申請書」

*様式は社会学研究科事務室で配付します。
各自、電子メールで社会学研究科事務室あて
[アドレス ji-shajm@mail.doshisha.ac.jp] に
学生ID、氏名と必要な書式データを明記して
請求してください(プリントアウトの用紙を希望
する場合は窓口へ申し出てください)。